

設備投資や人材育成で高品質を達成している 設備の近代化や業務改善を集め効率化を図る

アイシン精機(株)を主取引先として、ブレーキ及びエンジン周りの自動車部品の切削、研削、研磨を主業としている。「削りのスペシャリスト」として、自動車の進化とともに多様化するニーズに応えるため、より高精度な加工に取り組み、取引先の信頼を勝ち得る技術を日々追求している。そしてトヨタグループの精密部品の一端を受け持つメーカーとして、自動車の安全化・環境負荷低減に対応して、設備の近代化と技術者の育成に積極的に取り組んでいる。「頑張るものづくり企業in西尾」にも選ばれた。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 愛知県西尾市鵜ヶ池町五林八十八番地 | ● 設立 | 1964年 |
| ● 電話/FAX | 0563-56-2288/0563-56-1031 | ● 資本金 | 3,570万円 |
| ● URL | http://www.marufuji-seiko.com | ● 従業員数 | 247人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 齋藤 裕史 | | |



世界トップレベルの精密加工と100%良品保証の実現

同社は最先端の設備を積極的に活用し、付加価値を向上させている。NC旋盤325台を筆頭に、マシニングセンタ、センタレス研削盤等、最先端の設備を備え、世界トップレベルの精密加工を実現している。品質保証にも注力しており、56台のインライン検査機や表面粗測定器、三次元測定器等の設備を備えている。平成27年には不良発生の原因追究を目的に生産技術グループを5人増員した。このような取組によって、100%良品保証を実現している。



インライン自動検査機

新工場建設と従業員の知恵を集めた業務効率化の実施

業務効率化を図るべく、平成25年に本社工場内に新工場を2棟建設した。以前の工場は増築を続けてきたため、使いづらいレイアウトとなり、生産効率が低下していた。そこで、既存の工場を取り壊して新工場を建設し、生産効率向上を図った。設備を導入する際は、工場内の動線の見直しを行い、効率化に努めている。また、経営者は「あらゆる成功は、多くの失敗の上に成り立っている。」として、従業員から日々の業務に関する改善を広く集め、それを取り入れることで業務効率化を進めている。



工場内設備

「育成塾」、「NCスクール」による人材育成と女性従業員の活躍

「人材＝人財」と考え、「育成塾」にてトヨタ生産方式に基づく人材育成を行っている。1年間の現場改善の実践を通じ、将来を担う人材を育成している。「NCスクール」では、生産技術専門の講師による少人数の集中講座を行い、NC機械加工の基礎的な技術を習得させ、従業員の技術向上に努めている。また、女性雇用にも積極的であり、事務部門だけではなく、品質管理部門でも女性従業員が活躍している。更に、残業を減らして、休暇が取りやすくなることに、全社を挙げて取り組んでいる。



女性検査員